

## エネルギー分解能

### エネルギー分解能 えねるぎーぶんかいのう

放射線のエネルギー測定精度を表す指標である。一定エネルギーの放射線が、その全エネルギーを検出器中で失った場合に、この放射線のエネルギースペクトルは原理的には線スペクトルとなる。しかし現実の検出器では、ある広がりを持った分布スペクトルとして検出される。この分布の幅が狭いほど、放射線のエネルギー分布が精度良く測定でき、通常分布スペクトルの半値幅 $\Delta E$ をエネルギー分解能と呼ぶ（これを放射線のエネルギー $E$ で割った $\Delta E / E$ を用いることもある）。放射線測定器としては、半導体検出器がきわめてすぐれたエネルギー分解能を有している。

---

<登録年月>

1998年01月

---

---